



周南市立 新南陽市民病院だより

電話：0834-61-2500

FAX：0834-61-2501

メールアドレス：renkei@city-hp.or.jp

ホームページ：http://www.city-hp.or.jp



新南陽市民病院の基本理念

市民に奉仕する医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に、親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティー」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で指定管理者制度に基づき公益財団法人医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。

また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。

目次

CONTENTS

新年のご挨拶	2
看護部だより	3
中央部・薬剤部だより	4
老健・地域連携室だより	5
糖尿病食レシピ	6
後期消防訓練・医療統計	7
外来診察一覧表	8



新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年はコロナのせいでこれまでにない一年となりました。しかし悪い事ばかりではなく、ハヤブサ2によるリュウグウの石持ち帰りミッション完全成功では、日本の科学技術力の水準を世界に誇示することが出来ました。まだまだ続くコロナ禍の間はじたばたせず、充電期間ととらえて自己研鑽に勤めることです。個人的には久しぶりにダン・ブラウンの本“Origin”を読む事ができました。Where do we come from? Where are we going? という人類永遠の問いとAIがテーマで、色々と考えさせられました。

昨年はコロナ元年のみならず、当市民病院のDPC元年でもありました。地域連携室も田中室長補佐を迎え、より有機的な地域連携を模索しています。さまざまな医療機関との緊密な連携、レスパイト入院を含めた、さまざまな包括ケア病床の活用シーンを想定・実践していきます。また腎・泌尿器・透析センター開設の効果で新規外来患者数、新規透析患者数が増えつつあります。腎臓内科岡本センター長、泌尿器科河村副センター長もやる気満々です。

この難局を職員一同の力を結集して乗り切り、スッキリとしたコロナ明けを展望する、そして牛のように鈍重に力強く目標に向かって進んでいく。そんな令和3年の正月となる事を期待しています。皆様のより一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。



周南市医療公社副理事長
周南市立新南陽市民病院院長
松谷 朗

迎春

ブルーサークルイベント



11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、平成17年から毎年、糖尿病週間行事を院内または周南市の物産展内で行い、多くの地域の方に参加していただきました。しかし今回はコロナ禍の中、好評の講演会や体験コーナー、検査の多くを中止することになりました。ポスター展示と栄養相談と血糖測定のみに縮小し“三密”とならないようにイベント期間を従来の1日限定から、11月9日（月）～13日（金）の5日間とし、コロナウイルス感染予防策を講じた上での開催としました。イベント期間中に延べ83名の方に血糖測定や栄養相談を受けていただきました。健診で血糖が高かった方や日頃、血糖測定をしたことがない人など血糖値の結果に「まずいと思われた方」、「安心された方」など皆さんが栄養師さんと日本糖尿病療養指導士の看護師さんから食生活や運動について説明を受けて帰られました。またポスター展示コーナーには厚生労働省の糖尿病腎症予防啓発ポスターもあり、あの夏目漱石さんや藤原道長さんも糖尿病だったそうで「腎臓も守りましょう!!」と啓発されていました。最後に今年の11月は新型コロナ感染症も終息を迎え、ブルーサークルイベントを開催したいものです。



中央部だより

診療放射線技師 常岡 拓也

CT検査の被ばくについて

近年、医療分野における放射線の利用は急速に拡大しました。

CTも各医療機関の施設機能に合わせて多様に配置され、データ収集方法の違いや短時間撮影できるもの、被ばく低減機能の有無など新旧様々な装置が混在するようになり、被ばく線量の違いも生じていました。

医療現場では、これまでも医療放射線を適切に防護することが求められ対応していましたが、国際的に医療放射線防護の最適化のために『診断参考レベル』を使用することが求められ、日本でも公表されました。

『診断参考レベル』とは、患者さんの被ばく線量の適正化に使用される指標であり、検査目的に合わせて線量を調整（最適化）し、施設間の格差を縮小させるために用いられます。当院も診断参考レベルを用いて最適化に努めています。

また、当院でCT検査を受けられる際『CT検査における被ばくと注意点』について用紙をお渡ししています。CT室前にも置いてありますので、どうぞご自由にお取りください。



図：日本医学放射線学会 CT検査より引用

薬剤部だより

薬剤師 中村 章栄

生薬と漢方薬の厳しい現状と将来

日常のちょっとした症状の改善に、また持病の治療に対して多くの方が漢方薬を服用されています。そこで今回は漢方薬の原料となる生薬を中心にお話しいたします。

漢方薬は、自然界にある動植物や鉱物を加工した「生薬」を複数組み合わせで作られた薬です。

生薬には栽培品と野生品があり、最近では栽培品が増えているとはいえ、まだ野生品しかない生薬も存在します。現在日本国内で使用する生薬の約80%を中国からの輸入に頼っていますが、乱獲による絶滅危惧種の増加と地球温暖化などの気候変動により、野生品の確保がどんどん難しくなっています。



将来的には栽培品をさらに増やすことが必要ですが、国内はもちろん中国でも栽培の難しさや採算性の悪さから担い手不足に陥り、栽培品の増産が進んでいません。

また、中国では人件費高騰などにより生薬の価格や製造原価が上がる一方、国内では度重なる薬価改定で薬価は下がってきており、漢方薬を製造販売する企業が苦境に立たされ年々減少する傾向にあります。今や生薬の確保はもちろん漢方薬の安定供給自体が危機的な状況なのです。

みなさん、今後日々漢方薬を服用する際、貴重な自然の恵みである生薬に是非思いをはせてみて下さい。

老健だより

支援相談員 安達 佳郎

老健を最後の選択肢にしないで…

とても仲の良い夫婦が、老々介護をされていました。要介護3で足に力が入らず、フラツキの強い大柄な夫を小柄な妻が一人で一生懸命介護されていました。出来る限り夫を自宅で介護したいとショートステイを利用する事無く、主にデイケアの利用で二人暮らしを維持されていました。しかし、それも長くは続きませんでした。妻は介護負担が重く、腰を痛めてしまい、二人暮らしの継続が困難になり、夫は老人ホームの入所を余儀なくされました。奥さんの「出来るだけ自宅で介護したい」が裏目に出た結果でした。



二人暮らしを長く継続するには、軸足は自宅に置き、例えば寒い冬の3か月間はゆめ風車に入所し、暖かい春に退所。これを繰り返す事で、自宅で奥さんと二人の生活が長く続いたかもしれません。ギリギリまで、自宅で介護し、「もーダメ」「これ以上無理！」で施設入所では無く、施設を前もって上手に利用し、息抜き、手抜きの介護をする事で、二人が、いつまでも住み慣れた我が家で、自分らしく生活する事が可能になると思います。

連携室だより

地域連携室(直通)
TEL 0834-61-3250 / FAX 0834-61-3211

○訪問看護サービスのご紹介

訪問看護とは、ご自宅で療養される方やご家族が、安心して生活でき安らぎと満足感を得ていただけるように、訪問看護師が、かかりつけ医師の指示のもと訪問し、お一人お一人の状態に合わせた看護を提供するサービスです。

サービスの内容としては、

- ・ 病状・障害の観察、服薬管理
- ・ 床ずれ防止や処置
- ・ 身体の清拭や入浴介助、食事（栄養）指導・管理、排泄の介助・管理
- ・ カテーテルなどの医療器具の管理
- ・ リハビリテーションの実施と相談
- ・ 生活及び介護方法に関する支援、相談
- ・ ターミナルケア、家族等の支援

など、お受けしています。

当院にも、訪問看護ステーションを併設しております。利用をご希望の方や、ご相談のある方は、地域連携室までお問合せをお願いいたします。



糖尿病食のレシピ

(モーニングセット)

《材料》2人分

☆トースト

5枚切り食パン	2枚
卵	1個
玉ねぎ	40g
マヨネーズ	大2/3
パセリ	大山盛り1
コショウ	少々

☆サラダ(添え)

お好みの生野菜	50g
ミニトマト	60g (6個)
モzzarellaチーズ	30g
粗挽き黒コショウ	少々
塩	0.5g
オリーブオイル	小1

☆スープ

まいたけ	40g
生きくらげ	15g
コンソメ	1g
みそ	小1
水	250ml
ねぎ	少々

☆フルーツヨーグルト(添え)

バナナ	100g (小1本)
無糖ヨーグルト	100g

☆卵(添え)

卵	1個
---	----

☆飲みもの

無糖コーヒー	1杯
--------	----

《作り方》

☆トースト

- ①食パンに田の字の切れ目を入れる。
- ②卵を溶き、薄切りにして小さくきざんだ玉ねぎ・マヨネーズ・コショウ少々を混ぜ合わせ、粗くきざんだパセリも加える。
- ③パンに半分ずつわけトースターでお好みの焼き加減に焼く(3分前後)。

☆スープ

- ①鍋に水を入れ沸騰させる。
- ②まいたけと生きくらげを食べやすい大きさに切って加え、コンソメを入れて煮る。
- ③火が通ったら、みそを溶いて小口切りのねぎを散らす。

☆卵(添え)

- ①ゆで卵を作り半分に切り添える。

☆サラダ(添え)

- ①お好みの生野菜とミニトマトを半分に切り、モzzarellaチーズは角切りにし混ぜ合わせる。
- ②粗挽き黒コショウ少々、塩ひとつまみ、オリーブオイルで和える。

☆フルーツヨーグルト(添え)

- ①バナナを食べやすい大きさに切り、無糖ヨーグルトをかける。

☆飲みもの

- ①無糖コーヒーを準備する



1人分 455kcal、塩分1.9g
※4枚切り食パンでは 501kcal、塩分2.1g

令和2年度後期消防訓練

総務課 伊藤 義浩

11月17日（火）14時00分より、周南市消防本部の指導のもと、新南陽市民病院と老健ゆめ風車合同の消防訓練を行い約50名の職員が参加しました。出火想定場所での初期消火、非常通報、病院北側の宮の前公園まで模擬避難を行いました。その後、消防本部指導による新入職員を中心に消火器講習や、煙が充満した部屋を体験する訓練を行いました。火災時の煙の恐さを体験したことで、改めて職員の防災意識を高める事が出来ました。



医事統計

◆月別平均在院日数

(単位：日)

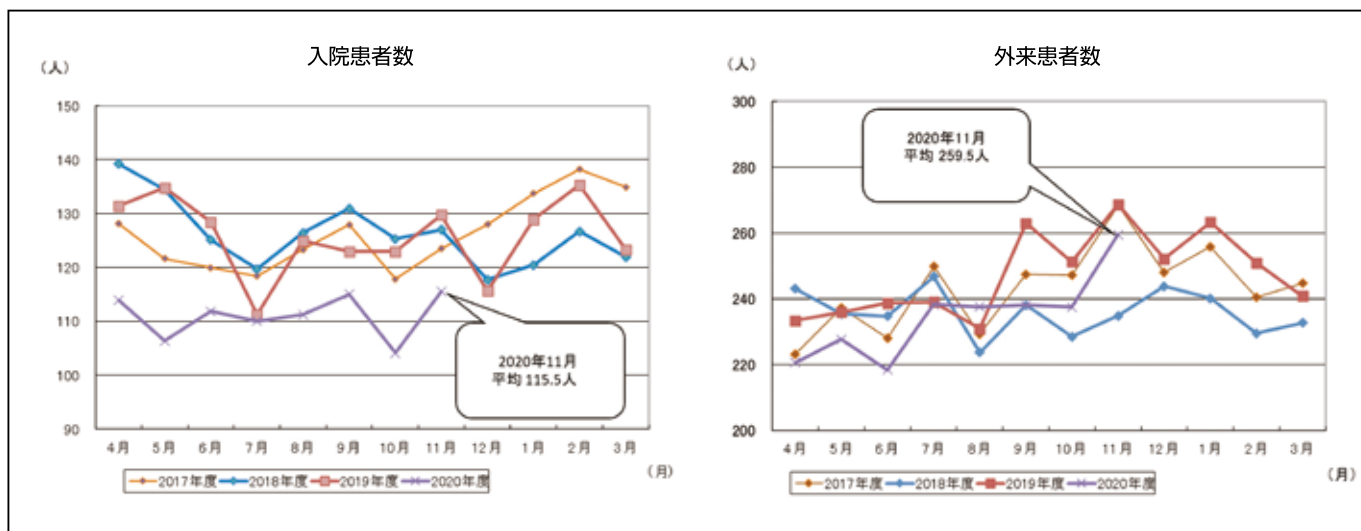
	2019年度	2020年度	対前年度(2020-2019)
4月	16.18	14.60	▲ 1.58
5月	20.07	16.94	▲ 3.13
6月	20.05	12.67	▲ 7.38
7月	15.47	14.14	▲ 1.33
8月	17.97	13.55	▲ 4.42
9月	17.96	14.67	▲ 3.29
10月	17.38	11.84	▲ 5.54
11月	17.64	14.06	▲ 3.58
平均	17.80	14.06	▲ 3.74

◆月別病床利用率

(単位：%)

	2019年度	2020年度	対前年度(2020-2019)
4月	87.6	76.0	▲ 11.7
5月	89.9	70.8	▲ 19.1
6月	85.6	74.6	▲ 11.0
7月	74.1	73.3	▲ 0.8
8月	83.3	74.2	▲ 9.1
9月	82.0	76.7	▲ 5.3
10月	81.9	69.4	▲ 12.5
11月	86.1	77.0	▲ 9.5
平均	83.8	74.0	▲ 9.8

◆月別平均患者数推移グラフ



外来診察一覧表

受付 8:00～11:30

診察 9:00～

2020年4月1日～

科別			月	火	水	木	金
内科	午前	1診	松谷 朗	林 俊輔	松谷 朗	松谷 朗	林 俊輔
		2診	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝
		3診	新開 泰司	松永 一仁	齋藤 真理	新開 泰司	松永 一仁
		4診	田上 耕蔵	明連 武樹	吉賀 康裕	明連 武樹	明連 武樹
		5診	—	岡本 匡史	岡本 匡史 (予約再診のみ)	—	—
		6診	—	—	佐々木輝昌	齋藤 真理	岡本 匡史
	健診	健診室	佐々木輝昌	佐々木輝昌	—	—	佐々木輝昌
	検査	消化器	松永 一仁 齋藤 真理	新開 泰司 齋藤 真理	新開 泰司 松永 一仁	松永 一仁	新開 泰司 齋藤 真理
		循環器	明連 武樹	河野 正輝	明連 武樹	河野 正輝	—
	午後			頸動脈・ 甲状腺工コ一			頸動脈・ 甲状腺工コ一

外科受付 (月・火・水・金)8:00～11:30 (木)8:00～9:30 診察 (月～金)1診 9:00～ (金)2診 10:00～

外科			月	火	水	木	金
午前	1診	鈴木 道成	鈴木 道成	近藤 浩史	鈴木 道成	近藤 浩史	鈴木 道成
	2診	—	—	—	—	近藤 浩史	

脳外科受付 8:00～11:30 診察 9:00～

脳外科		月	火	水	木	金
午前		藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 康弘	西本 拓真	藤井 康弘

眼科受付 8:00～11:30 診察 9:00～

眼科		月	火	水	木	金
午前		新川 佳代	新川 邦圭	新川 邦圭	新川 邦圭	新川 邦圭

泌尿器科受付 8:00～11:30 診察 9:00～

泌尿器科		月	火	水	木	金
午前		河村 英文	—	—	河村 英文	河村 英文

整形外科受付 8:00～10:30 診察 9:00～

整形外科		月	火	水	木	金
午前	小田 裕胤	—	—	—	黒川 陽子	鈴木 秀典
	田中 一成					

◎土・日・祝祭日はお休みです。

●腎・泌尿器・透析センター(8:00～18:00)
月曜～土曜(午前クール、午後クール稼働)

お問合せ

周南市立新南陽市民病院(総務課)

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15
TEL 0834-61-2500 / FAX 0834-61-2501

